

氏名	岡本 光代(おかもと みつよ)
職名	講師
専門分野	公衆衛生看護学
学歴	和歌山県立医科大学保健看護学研究科博士後期課程修了
学位	博士(保健看護学)、修士(教育学)
担当科目	(学部)公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅱ、家族と看護、教養セミナー、保健看護管理演習、公衆衛生看護実習、家庭訪問実習、地域連携実習、在宅看護実習、早期体験実習、統合実習Ⅱ
研究テーマ	1. 幼児のQOL尺度開発 2. 小児がん患児と家族の在宅療養における生活中心型協働システムに関する研究 3. 小児がん患児の復学支援
所属学会	日本公衆衛生看護学会、日本小児がん看護学会、日本育療学会、日本小児保健協会、日本公衆衛生学会、日本保健福祉学会
研究業績	<p><論文></p> <ol style="list-style-type: none"> 岡本光代, 山田和子, 谷野多見子, 他: 幼児が回答する絵カード式Quality of Life尺度の有用性の検討. 小児保健研究, 76(1), 72-80, 2017. 岡本光代, 山田和子: 子ども虐待を含む虐待周辺用語の定義に関する文献検討. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 13, 11-20, 2017. 岡本光代, 石井敦子, 谷野多見子, 山田和子, 前馬理恵: 学生が単独で行う継続した家庭訪問における学習内容～地域看護実習の記録の分析から～. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 10, 41-51, 2014. 武田鉄郎, 岡本光代: 社会的分離からくる苦痛の緩和～End-of-Life期にある10代患者に対する教育支援, 小児看護, 34(3), 298-302, 2011. 岡本光代, 山田和子: 子ども虐待を含む虐待周辺用語の定義に関する文献検討, 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 6, 1-7, 2010. <p><学会発表></p> <ol style="list-style-type: none"> 岡本光代, 山田和子, 森岡郁晴, 他: 絵カードを用いた幼児のQOLとSDQとの関連. 第76回日本公衆衛生学会総会, 2017. 鹿児島市. 岡本光代: 母親の育児不安に関連する要因～父親の育児態度および育児役割分担意識に関する父母の認識に焦点をあてて～. 第30回日本保健福祉学会学術集会, 2017. 和歌山市. 岡本光代, 永井祐也, 永井絵莉子, 他: 小学校3年生への小児がん啓発人形劇の効果－感想文の内容分析を通して－. 日本育療学会第21回学術集会, 2017. 岐阜市. 岡本光代: 小児がん患児の在宅療養における母親の体験. 第14回小児がん看護学会学術集会, 2016, 東京. Mitsuyo Okamoto, Kazuko Yamada, Tamiko Tanino, et al: Validity of the Self-Report questionnaire of Quality of Life for Young Children Using Picture Cards. The 48th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference, 2016, Tokyo. 岡本光代, 永井祐也, 田中賀陽子, 武田鉄郎: 小児がん経験者に対する児童の知識と態度の変容～2回にわたる人形劇上演から～. 日本育療学会第17回学術集会, 2013. 8, 福岡市. 岡本光代, 山田和子, 武田鉄郎: オーストラリアの小児がん患児の在宅療養の特徴と看護師の役割. 日本育療学会第15回学術集会, 2011. 8, 東京都.
メッセージ	<p><活動の紹介></p> <p>人形劇を用いて病気や障害をもつ子どもの理解啓発活動を、小学校や公民館等で実施している。</p> <p><学生へのメッセージ></p> <p>保健師の仕事は、すべての住民を対象に、住民の健康を守り、疾病を予防する活動です。地域に根差し、住民とともに健康なまちづくりに取り組んでいく仕事はとてもダイナミックで奥が深く、面白いです。特に、病気や障害をもつ子どもの発達保障や子育て支援についての研究が私のライフワークです。</p> <p>多くの人々との出会いや努力の過程での様々な苦労は、人生を豊かにするための要素になるはずですが、何事も面倒がらず、ひとまず真剣にやってみると、自ずと道は拓けていきます。色々なことにトライして大学生生活を有意義に過ごしてください。</p>
メールアドレス	m-okamot@wakayama-med.ac.jp